

行政視察報告書

令和 3年 11月 5日

会 派 名 江政クラブ
会派代表者 河合 正猛

(参加者： 中野裕二)
行政視察の結果について、次のとおり報告します。

①

年月日	令和 3年 10月 21日 (木曜日)
視察時間	10:00~11:30
視 察 先	安城市
視察項目	SDGsの取組について

行政視察報告書

①

年月日	令和 3 年 10 月 21 日 (木曜日)
視察時間	10:00~11:30
視察先	安城市
視察項目	SDGs の取組について
■目的 健幸（ケンサチ）と銘打ちSDGs を取り入れて先進的な取組みを様々行い、市民の健康と幸せ都市につなげる活動を学び江南市にも役立てるため。	
■内容 平成 28 年に基本理念を「市民一人ひとりが生活の豊かさとともに幸せを実感できるまち」とする 8 年計画の第 8 次安城市総合計画を策定した。この計画に基づくまちづくりをスタートしてから 4 年が経過し、その間、社会情勢が変化してきているので、これらの変化や新たな課題に対応するため、計画の中間見直しを行い、後期計画で「ケンサチ 2.0」としてまちづくりをスタートした。 ケンサチはSDGs ① 持続可能な開発目標（SDGs）の目標達成を目指します。 市民がみんなでつながり、健やかと幸せが実感できるケンサチなまちの実現を目指します。これを実現させることは、SDGs に設定された 2030 年までに達成すべき 17 のゴールを目指すことにもつながります。 ② 重点戦略「健幸都市推進プロジェクト」を、公民連携により進めます。 1 ひとつづくり すべてのライフステージとその変化に応じた適切な環境づくりを支援することにより、誰もが居場所と役割を持ち活躍できる地域社会の実現を推進し、市民が健康で幸せに暮らし続けることのできる社会の形成を目指します。 2 しごとづくり 農業、商業、工業のバランスのとれた産業基盤を維持しつつ、これらの産業で新技術の導入を促すような支援や創業支援を通じ、イノベーションを促進することにより、本市の安定した雇用の維持を目指します。 3 まちづくり まちづくりを市民とともに行うことで、市民ニーズにあった住みやすいまちづくりを進めるとともに、市民のまちに対する愛着や誇りを醸成し、市民にと	

って住みつづけたいまちになることを目指します。

これまでの取組みとして

- (1) オンラインセミナーの開催（参加者 197 名）
- (2) 安城市版SDGs未来会議U-24 子どもたちと意見交換
- (3) 安城市版SDGs未来会議U-24 活動プレゼンテーション
- (4) 安城市版SDGs未来会議U-24 ワークショップ

令和3年度SDGs庁内推進体制としてSDGs推進本部を設置

- 役割
- (1) SDGsの推進に関すること
 - (2) SDGs推進本部の運営に関すること
 - (3) SDGs認識度向上・庁内浸透に関すること
 - (4) SDGs関連事業の全体調整に関すること
 - (5) SDGs未来都市の指定及びモデル事業の計画策定に関すること

ケンサチeフェスの取組み

令和4年度の市制施行70周年に向けてeスポーツ等のデジタルコンテンツを社会課題解決に向けて活用するプロジェクト

幸せつながる健幸都市の実現及びSDGsの実践を目的とし、eスポーツ等のデジタルコンテンツをそのための手法として活用すべく、イベントやワークショップを実施し効果検証を行うとともに、この取組みを市内外に発信し、シティプロモーションを推進する事業。

■所感

市長の強い要望により、健幸（ケンサチ）のキャッチフレーズができ、SDGsを推進するための企画部 健幸SDGs課が設置され市民の健康と幸せにつながるケンサチのまち安城のまちづくりの想いが非常に強く伝わった。

この課の取組みは多岐に渡り、市民の理解を得るために奮闘し、デジタル人材の育成や高齢者の介護問題の解決にeスポーツも取入れた。その際、庁内の理解を得るために相当苦勞をしたようだ。果たして、江南市でこれだけ強い想いをもって行動する職員は何人いるのだろうか。まず、この行動力に感銘を受けた。